



岩田 とも子

県議会リポート



発行所／〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先／立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

NO.
45

戦争の影響によるナフサの供給不足は、県内でも深刻な事態となっています。塗装業を営む方からはシンナーの不足や値上がり、美容師の方からはゴム手袋や資材の不足と値上げ、農家からは出荷用のフィルムやマルチなどの資材不足の声が私にも届いています。幅広い業界に大きな影響が及んでいます。こういった声に対して政府は「供給量は足りている。流通過程での目詰まりがある。」との見解を示しています。しかし現場は一刻の猶予も許されず、多くの方が生活不安を抱えている状況があります。戦争により私たちの暮らしが圧迫されているのは事実です。

6月23日の沖縄慰霊の日に、中学2年生の亀谷琉奈さんは曾祖母の戦争体験を聞いて書いた「生きたいと願った証」と題した詩を朗読しました。亀谷さんは「平和は当たり前じゃない。たくさんの人の涙と苦しみと『生きたい』という願いの上にある。」「曾祖母が命をつないでくれて、今の私がいる。」と語りました。今、世界で起こっている戦争の中でこの「生きたい」という願いが踏みにじられています。私たちの「生きたい」という願いはどんな理由でも踏みにじられてはならないのです。

熊本県議会6月定例会のご報告

今回の議会では、183億円の補正予算に加え、議会最終日に上程された11億円の追加補正予算、計194億円が可決されました。補正後の一般会計予算額は9,547億円となります。

主な事業は次のとおりです。

- 自動運転バス実証運行の実施 2億2,500万円
- 周産期医療体制の確保、医療分野での業務効率化、備品購入費に対する助成 6億9,000万円
- スマート農業、露地野菜の生産体制構築への支援 3億4,100万円
- 県立高校教育改革促進基金の積立と取り組み 71億7,000万円 ※
- 小規模事業者への支援 20億円
- 防災・減災、国土強靱化推進 58億8,300万円
- LP ガス料金の負担軽減のための支援 11 億円

※ 地方の過疎化が一層深刻になることが見込まれる2040年に向け、国は高校教育改革グランドデザインを策定しました。「AIに代替されない能力や個性の伸長」「我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成」「多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保」が改革の方向性だそうです。これを受け熊本県としては菊池農業高校、天草工業高校、人吉高校、熊本高校において、今年度9億2,800万円の予算でその改革の方向性に向け取り組まれるとのことでした。その一方、今年度入学した熊本県の公立高校の1年生はタブレット端末が個人負担になりました。県から15,000円の補助があるものの個人負担は、ほぼ5万円にもなります。家庭の教育費負担軽減につながる予算も必要です。

県議会インターネット中継・録画は
こちらよりご覧ください



議員提出議案について

今議会では、議員提出議案7件が上程されました。
採決の結果は下の図のとおりです。

第4号、第5号、第6号議案の趣旨説明は、岩田とも子が登壇して行いました。残念ながら、全て「賛成少数により否決」となりました。特に6号議案については、物価高が続く中、政府は高額療養費の負担を今年の

8月から段階的に引き上げます。今でも負担の大きい長期療養者が負担増により治療をあきらめてしまう可能性があります。一部の人を取り残してしまう心配がある制度の改悪部分については政府として見直すべきです。

議員提出議案

6月24日本会議

議案番号	件 名	採 決
第 1 号	熊本県議会議員の選挙区、各選挙区の区域及び各選挙区における条例の一部を改正する条例の制定	○
第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○
第 3 号	危機に直面する農林畜水産業への施策・予算に関する意見書	○
第 4 号	インテリジェンス機関への民主的統制強化を求める意見書	×
第 5 号	武器輸出について憲法の平和主義並びに国連憲章に基づく厳格な運営を求める意見書	×
第 6 号	高額医療費制度の見直しを求める意見書	×
第 7 号	非核三原則の堅持を求める意見書	×

ともに育ち、ともに働き、支え合う

議員活動12年目を迎えています。

政治の役割とは、特別な誰かのためのものではなく、日々の生活の中にある「生きづらさ」を紐解(ひもと)くことです。現場の声を聞き、それを議会という場で具体的な政策として実現していくことです。それこそが私が議員活動で大事にしてきたことです。これからも変わることはありません。

初当選以来17回の議会質問に立ちました。

17回の議会質問がカバーする「テーマ」と「課題」

女性・子ども	☒ 女性の社会参画 ☒ 教員業務支援員の配置	☒ 子育て支援の拡充 ☒ 学習環境の整備	☒ 平和学習の充実
福祉と環境	☒ 高齢者の見守り ☒ 障害者雇用の促進	☒ 避難所バリアフリー化 ☒ 車椅子対応トイレ	☒ 再エネの導入 ☒ 防災教育の推進
くらし	☒ 地域産業の振興 ☒ 長距離ミサイル配備問題	☒ 公共交通の維持	☒ 地下水PFAS問題



Instagram

facebook



女性の雇用環境整備を議会で追及

提 案	理 由	例 示	結 果
女性が熊本で働きたいと思える雇用環境の整備と「人口ビジョン」への反映を知事に求める。	女性の県外流出が続く現状。男女共同参画条例が存在しても、出産・育休への職場偏見や固定性別役割分担意識が依然として壁となっているため。	菊陽町の男子高校生による「イクメン」の必要性を訴える投稿を議会で提示。また、技術・家庭科の男女共修による家事実施率向上を強調。	男女共同参画推進課と人権同和政策課の強力な連携のもとキャリア教育の徹底と県民アンケートの実施。熊本県女性が働きやすい職場環境整備支援事業補助金制度の導入。